

## 平成 18 年度第 2 回釜石市立図書館協議会の開催結果

1. 日 時 平成 18 年 10 月 25 日 (水) 午前 10 時から午前 11 時 30 分まで

2. 場 所 釜石市立図書館 2 階視聴覚室

3. 出席者 (委員) 9 名 伊瀬幸城、阿部修吾、松田淳子、三浦信子、佐々木正忠  
木谷 哲、千葉佐和子、佐藤順子、松村弘子  
(事務局) 5 名 教育長 河東眞澄、図書館長 中村公一、館長補佐 榊澤貴代子  
図書館係長 岩間千枝子、主査 高橋みゆき

### 4. 経過と結果

(1) 開会のことば (榊澤館長補佐)

(2) 教育長挨拶要旨

- ・本日はご出席いただきありがとうございます。
- ・釜石市立図書館の利用者の数も順調に伸びています。
- ・事業も多くの事業に取り組んでおり、いろいろなアイデアを膨らませているので委員の方々も良いアイデアがあったらドンドン図書館のほうに働きかけてほしいと思います。
- ・施設設備は充分ではない状態であるが、今後とも図書館運営にご協力をお願いします。
- ・今日は、中間報告ですが、委員の皆様の忌憚のない意見をいただければと思っております。本日はよろしくお願いします。

(3) 議題

伊瀬委員長が議長となり、以下の議事運営にあたった。

平成 18 年度前期釜石市立図書館事業報告について

(会議資料に基づき、中村館長が説明し、承認された。)

平成 18 年度後期釜石市立図書館事業計画について

(会議資料に基づき、中村館長が説明し、承認された。)

平成 18 年度前期釜石市立図書館利用状況について

(会議資料に基づき、高橋主査が説明し、承認された。)

その他

と の順序を交換し、協議した。

(4) その他

- ・釜石市立図書館では、多くの市民に気軽に図書館を利用してもらうために、工夫を重ね、事業に取り組んでいる。また、図書の利用者数も増加している傾向にある。今後とも、市民に親んでもらう図書館を目指す。
- ・児童の学区外での行動については、制約があり、フリーにしたいが、学校側も臆病になってきている。自然に親しんだり、外で遊ぶことは体力づくりにもなると思うが、規制もあり、子どもたちの遊べる場所が狭められてきている。そういったことから、子どもたちに図書館の利用を促したい。

(5) 開会のことば (榊澤補佐)

### 5. 会議の中での主な質疑・意見等

(質問) 東京都立の図書館では本がなくなったり、切り抜かれたりして、警察が入って捜査しているという問題がおきているが、当館では、そういった被害はないか。(千葉委員)

(回答) 若干ある。神経質になるほどではないが、料理本のレシピが切り抜かれた。対策としては、最新刊の雑誌はカウンターにおいて、カウンターに申し込む貸出し方法をとっている。職員から借りることによって切り取りにくくなるのではないかとの意図である。それから新聞が 1、2 回なくなったことがあった。土、日の特集版がなくなったが、地元の販売店にお願いして無料で補充することができた。

- (質問) コピーができるということを知るように宣伝したらよいと思う。コピーは自分でできますよね。(伊瀬委員長)
- (回答) 職員がやります。1枚20円いただいています。
- (質問) 移動図書館車の利用も増えていますね。(伊瀬委員長)
- (回答) (資料により数値の詳細を説明) 増えている。全体の利用が増えているのは、移動図書館者の利用が増えているからだと分析している。移動図書館車の利用が増加している要因は学校の協力もあり学校での利用が増加している。バス2台で運行できれば事業所に行くなどして、利用を伸ばすことができると思うが、いまのところは、学校で利用を伸ばしている。
- 移動図書館の利用の増加は、情報システムがはいつたことが大きいと思う。
- (質問) 相互貸借とはどういうことですか。(阿部委員)
- (回答) 釜石市立図書館以外の図書館に貸出ししている。逆に、釜石市立図書館で他市の図書館から借りることもある。
- 県内の公共図書館のネットワークがあるので、お客様はインターネットを通じて、検索し、釜石市立図書館以外の図書館にある図書は、釜石市立図書館を経由して借りることができる。そういうことでも利用は伸びている。
- (質問) 本の紹介も広報等をつうじておこなえば、利用者も増えると思うが。(伊瀬委員長)
- (回答) 商工会議所の会報に掲載をお願いし、事業所の利用を広めたい。選書会議でも意識的に選書している。協働にかかわる本も増やしたい。
- (質問) 児童、生徒及び高齢者は多く利用しているが、現役の人の利用は少ない。高校生の来館状況はどうですか。(千葉委員)
- (回答) 高校生は学生利用室の利用はあるが、中学生は統合したため、利用は減少している。
- (質問) 分館がなくなってからの影響はどうですか。(千葉委員)
- (回答) 移動図書館の場所を増設したので、ほとんど影響はない。
- (質問) 学校統合になった学校図書館はどうなっているんですか。(伊瀬委員長)
- (回答) それぞれ新しく統合された学校の図書館に移動している。その際は、市立図書館司書が担当の先生に図書の整理方法等指導した。
- (質問) 古い本の活用についてもっと方法があるのではないか。絵本が満杯になっている。棚を増やすとか、書庫に移すとか工夫できないか。(松田委員)
- (回答) 活用については、地域生活支援センターなどにおいて活用したいと考えている。研究していきたい。
- (意見) 前期事業は、当初事業計画にない事業もあり、多くの事業を実施しているので、すばらしいと思う。職員も大変だったと思う。(伊瀬委員長)
- (意見) ブックスタート事業では、赤ちゃんに手づくり絵本を渡しているが、親たちからは、大変喜ばれている。いいアイデアだと思っている。(佐藤委員)
- (意見) 移動図書館もスムーズに行なわれるようになった。時間もうまく使えるようになった。(木谷委員)
- (意見) 子どもたちの放課後の居場所は図書館かと思う。図書館ではたくさんイベントを実施しているが、学区外だと子どもたちだけでは来れない。図書館に来るてだてを考えなければならない。今のところ PTA では図書館のイベントを参考にしている。(佐々木委員)